

第1回日野橋の在り方検討委員会 議事録

1 日時 令和6年3月28日（木）13時～15時30分

2 場所 市役所3階第2応接室および現地視察

3 出席者

委員：福山委員、高増委員、岡本委員、片山委員、額委員、高野委員、俵委員
長尾委員、和田委員、（欠席：浅井委員）

事務局：伊達都市整備部長、山中道路整備課長、足立課長補佐、長田係長
原文化振興課長、佐伯担当課長補佐

4 日程

① 開会

② 市長挨拶

③ 議事事項

- ・委員長・副委員長の選任について
- ・日野橋の現状について
- ・日野橋の今後の在り方について

④ その他

⑤ 日野橋の現地視察

⑥ 閉会

5 議事概要

〔日野橋の現状について〕

（委員）日野橋の文化財としての価値について教えてほしい。

（事務局）トラス橋として県内最大・最古であること、大山をバックに美しい景観を構成していること、加えて、地域住民が利用していることが国土の歴史的景観に寄与していることが文化財としての価値として認定されている。

（委員）平成14年に国から登録の照会があつて、平成15年に登録されているとのことだが、米子市としてどのような要望していたのか、当時の経過状況を教えてほしい。

（事務局）平成14年6月に文化庁から候補物件の照会があり、市内部で検討を行い平成14年7月に日野橋の登録を希望すると回答をしている。その後文化庁で登録の手続きを行い平成14年12月に文化財保護審議会の答申を経て平成15年3月18日に登録有形文化財になった。

（委員）平成14年当時、文化財登録について市民からの声などなかったのか。経緯を説明してほしい。

（事務局）当時の経緯を確認し、次回以降の検討委員会でお示しする。

(委員) ８８周年の際に長寿を祝う会があったように思う。その際の経緯はいかがか。

(事務局) ８８周年の際に会を設けた。当時の状況について確認し、次回以降の検討委員会でお示しする。

(委員) 西部地震の際に一時通行止めになったものの、補修工事を実施し通れるようになった。その際もこのような議論がなされ残すことになったのか経緯を伺いたい。

通行止めの解除後、市民から意見もしくは、市から聴き取りは実施したのか

(事務局) 災害復旧という形で原形復旧を行った。廃橋という議論はなかった。

開通後の市民への聞き取りについては確認できていない。

(委員長) これまでの日野橋の在り方について、どのような議論がなされてきたのかの質問が多い。事務局には、これまでの年表、経緯を作成していただきたい。

(事務局) 当時の経緯を確認し、次回以降の検討委員会でお示しする。

(委員) 文化財登録に至った経緯（文化庁からの打診に対しての米子市がどう動いたのかという価値が評価されて登録になったのか）についても次回に示してもらいたい。

(事務局) 当時の経緯を確認し、次回以降の検討委員会でお示しする。

(委員) 県内では災害で壊れたもの、指定文化財となったことによる文化財登録の抹消事例はあるが費用等の問題で積極的に抹消した事例（民間・行政）はない。

(委員) 県内の他の文化財としての橋りょうの状況などを知りたい。

(事務局) 次回以降の検討委員会でお示しする。

(委員) 水道管がＲ９年度まで利用されていることだが、ＰＣＢは、Ｒ８年度までに必ず撤去しないといけないのか。

(事務局) 水道管については、Ｒ９年度まで使用する。ＰＣＢは環境省が示す期限のＲ８年度までに処分する必要がある。

[日野橋の今後の在り方の検討]

(委員) 次回委員会に向けての準備事項をみると、橋を壊す前提に感じる。橋を失うことについて米子市にどんなデメリットがあるのか、米子市民の心にどんな影響があるのか。文化財についても同様。地域住民の声をもっと聞いてもらいたい。

また、市が文化財登録を抹消するということになると、民間所有の文化財への影響も考えられる。

(事務局) 老朽化した日野橋の今後の在り方を検討する上では、撤去費用を算出することは必要。修繕して延命した場合、撤去した場合のコストの比較については、来年度の詳細設計において算出し、文化財的な価値も含めて今後、総合的に議論していきたいと考える。

(委員) 保存することも検討し、中期計画の中で保存活用計画を考える必要がある。

(事務局) 意見を踏まえて検討していく。

(委員) 地元住民の意見をどのように吸い上げるのか、その方法についても議論してほしい。

(事務局) 地元住民の方には、非常に関心が高い。今後こういった形で意見を集約するのかについて相談させていただきたいと考える。

(委員長) 次回までに事務局にこれを調べておいてもらいたいものなどあるか。

(委員) 6連のトラス橋として他と比べてどれくらい貴重なものなのかを調べてもらいたい。(架設年度、構造、橋長など)

橋りょうで登録文化財になっているものについても複数ある。その状況と活用についても調べていただきたい。

(事務局) 橋りょうの構造や文化財的な活用等について比較できるような資料を作成する。

(委員) 鳥取県では約2000橋の橋りょうに年間30億ほどの維持管理費を要している。存続するにあたって米子市財政にどのような影響を与えるのか、資料の提供を求める。

(事務局) 米子市としても649橋を年間2億2千万円かけて維持管理している。日野橋を維持することによる費用負担など、次回以降の検討委員会でお示しする。

(委員) 皆生からの日野川(水辺)を利用したミズベリング(市民の憩いの場)として日野橋が活用されるようなことも検討してみては如何か。また、近くの文化財などの位置なども示してもらえればよい。

(事務局) 近隣には、水道局の旧事務所などさまざまな文化財があり、日野橋の活用法についても検討したい。